

TIRIクロスミーティングと産業交流展が初の同時開催

# 都産技研の技術シーズをもっと身近に!

都産技研を「知る」  
そして「つながる」マッチングイベント

**TIRI CROSSMEETING**  
2022

中小企業による  
国内最大級のトレードショー

**産業交流展**  
2022

TIRIクロスミーティングは、中小企業の皆さまの課題解決および事業化・製品化に向けて、都産技研が保有する技術シーズを紹介し、マッチングを促進するイベントです。

産業交流展は、「情報」「環境」「医療・福祉」「機械・金属」の分野で、中小企業の優れた製品や技術を展示し、新たなビジネスチャンスが生まれる展示会です。

今年は、「TIRIクロスミーティング2022」と「産業交流展2022」の同時開催によって、研究員による技術シーズ紹介と実際の研究成果の展示をあわせてご覧いただくことができ、都産技研の技術をこれまで以上にリアルに体感いただけます。その場で直接研究員と意見交換もでき、事業化・製品化へ向けたお問い合わせなどにも迅速に対応いたします。ライブ配信でご覧のお客さまも、チャットで簡単に質問していただけます。

8カテゴリー・60テーマの技術シーズ紹介は、お客さまご自身の業種や製品との関連がイメージしやすいように構成し、知りたい情報にいち早くアクセスしていただけます。当日は、都産技研や関連機関などからも技術や事業の紹介を行い、幅広い分野の皆さまに役立てていただける内容となっています。自社で使える新しい技術をお探しの方、技術課題に直面している方、アイデアを事業化・製品化したい方など、皆さまのご参加をお待ちしております。

	産業交流展2022	TIRIクロスミーティング2022
リアル開催	会期：2022年10月19日～10月21日 場所：東京ビッグサイト南1ホール（首都圏テクノネットワークゾーン内）	
オンライン開催	2022年10月12日～11月4日	2022年10月19日～10月21日（ライブ配信） 2022年10月26日～11月11日（オンデマンド配信）
ウェブサイト	<a href="https://www.sangyo-koryuten.tokyo/">https://www.sangyo-koryuten.tokyo/</a>	<a href="https://cm2022.iri-tokyo.jp/">https://cm2022.iri-tokyo.jp/</a>
問い合わせ先	産業交流展2022運営事務局 TEL：03-6811-6218 E-mail：sangyo-koryuten@nex.nikkei.co.jp	TIRIクロスミーティング2022運営事務局 （日刊工業新聞社内） TEL：03-5644-7032
参加費	無料（要事前登録）	

## 産業交流展2021の様子

写真は2021年の様子です。  
産業交流展のブースでは、発表内容について直接研究員に質問することができます。



## 発表タイトル一覧

分類	発表タイトル
AI・IoT・ロボット・5G	IoTを活用したLiB蓄電池電源の遠隔監視システムによるLiB Cellの劣化解析（株式会社 EVTD 研究所）
	めっき工程管理へのAI・IoTの導入
	IoTで使える無線通信規格と現状
	ローカル5Gへの都産技研の取組み
	AI技術を利用した現実拡張学習支援システムの開発
	AI技術を用いたプログラミング研修用教育システムの開発（東京都立産業技術大学院大学）
ヘルスケア・バイオ	強化ガラスの破損事故解析を高効率化する画像処理システムの開発
	レイアウト変更で性能劣化しない自己位置推定技術
	AI技術で誤検出を抑えた移動ロボットの小物体検出
	モバイルマニピュレータを活用した物体の3次元計測
	コマツナに含有された機能性成分ルテインの生体利用性を評価する実験系を構築
	複数の老化モデル細胞による「アンチエイジング成分」の適切な評価
材料・材料評価	生体内環境を模倣した培養基盤を開発し角化細胞の細胞老化を抑制
	細胞による修復を実現するためのコラーゲン基材の提案
	生体吸収性粉末を用いた骨ペーストによる脛骨インプラント固定強度向上
	RNAシーケンスデータ解析の概要
	室内でも利用可能な光触媒
	材料の最適化開発に威力を発揮する固体NMR技術～生体材料の最適化例～
	ポリマーの劣化を解析するためのFTIRライブラリの作成
	極低すべり速度での摩擦特性評価技術
	マグネシウム合金中微量水銀の定量法開発と国際標準化（明星大学）
	天然素材を活用したプラスチック代替素材によるストロー開発
	二酸化炭素CO <sub>2</sub> で造る、サステナブルな新環境素材 <CALXGERUM®>（クスノキ石灰株式会社）
	筆で塗るだけで構造色を放つ人工オパール技術（地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所）
電子デバイス	抗ウイルス機能コーティング剤「Dr. ハドラスEX」シリーズの開発（ハドラスホールディングス株式会社）
	毒劇物を用いない熱硬化性樹脂CFRPへのめっき方法（埼玉県産業技術総合センター）
	耐衝撃性CFRPへの独自緩衝材の採用で機械的特性の向上と脆性破壊の抑制を実現
	CFRTP格子による補強でパネルの曲げ特性が大幅に向上
	スマートテキスタイルによる鋼構造物の疲労き裂検知手法の提案
	有害物質を排除した加飾用粉末ガラスで橙色を再現
電子機器	ガラスの損傷を可視化させる蛍光観察手法の提案
	成膜が容易で低電位駆動が可能な有機電子輸送材料の開発
	近赤外線領域に反応するフレキシブル・有機光センサ
	近傍界シールド測定用器具を用いた遠方界シールド効果評価法の検討（千葉県産業支援技術研究所）
	受電アンテナとしても機能する電波吸収体の提案
	行列分解アルゴリズムによる放射ノイズ源分離手法の開発
加工・造形	ゼロソルベント電池開発（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
	大容量スーパーキャパシタ電極材料の開発（千葉工業大学）
	位置ずれに強く低ノイズなワイヤレス給電
	DCモーターを高効率化する電源制御の方法
	絶縁部品の設計・評価へのAM技術の活用
	精密な電気測定を実現するための取り組み事例の紹介
計測・評価・非破壊検査	テラヘルツ光による黒色ゴムの熱劣化診断
	微小サンプルの高効率回収法の提案～レーザーマイクロダイセクション法への応用～
	数値流体力学（CFD）を活用した型型渦巻ポンプの性能改善
	低コストで多様なデザイン形状の成形が可能な積層成型の開発
	めっき繊維を混合した導電性AM造形品の開発
	PBF（粉末床）方式の樹脂AMにおける異方性低減と解像度向上
その他	積層造形が可能な低着火性のマグネシウム合金粉末
	軽量金属・難加工材の板金プレス成形技術
	Ni基耐熱合金の高速切削加工を可能とする切削手法の提案
	JCIIにおけるSML6の活用について（一般財団法人化学研究評価機構）
	橋梁点検業務における、撮影と撮影画像からのクラック自動抽出の具体例（株式会社 アルファ・プロダクト）
	エックス線非破壊検査におけるデジタル撮影条件の決定方法
その他	X線CTスキャンの位置測定精度向上～複数機種の測定データ連携～
	屋内での日射環境試験の結果を活用し屋外に設置した製品の温度変化を予測するアプリケーションを開発
	消臭性試験には調湿が必須～活性炭の消臭性試験～
	テキスタイルの柔軟性を備えた接触圧センサ～天然繊維の有機導電加工で試作～
	音声の情報漏洩を正しく評価するための音響性能評価技術
	技術創出と人材育成で社会貢献を志向する東京農工大学（東京農工大学）
「東京型農業スケジュール管理アプリ」をリリース（公益財団法人東京都農林水産振興財団東京都農林総合研究センター）	
東京都中小企業振興公社助成事業の概要について（公益財団法人東京都中小企業振興公社）	
輸出製品技術支援センター（MTEP）の海外展開支援と活用事例の紹介	
都産技研技術シーズの活用について～共同研究とその成果のご紹介～	
広報メディア紹介	

※発表タイトルは予告なく変更される場合があります。

## TIRIクロスミーティングリアル開催の様子

過去に都産技研本部で行ったTIRIクロスミーティングの様子です。研究員による口答発表や基調講演などを行いました。  
リアルでは2020年以來2年ぶりの開催です。



都産技研表彰

INNOVATION PARTNERSHIP AWARD

都産技研表彰 – INNOVATION PARTNERSHIP AWARD – は、都産技研設立100周年を機に、都産技研を利用して都内産業を牽引してきた優れた中小企業を表彰し、東京都におけるイノベーション創出の発展に導くことを目的として設立しました。

都産技研の技術支援・研究開発を通して、社会貢献度の高い事業、製品・技術開発に意欲的に取り組んでいる中小企業を表彰します。



2021年11月に行った都産技研表彰式の様子

詳細はこちら <https://www.iri-tokyo.jp/site/100years/award.html>

リアル・ライブ配信 10/19



パネルディスカッション

製造DX – AIやIoTの活用について改めて考える –

今日では、IoTやAIはビジネスの生産性と品質向上に欠かせない分野です。今回は、都産技研情報システム技術部IoT技術グループ長をモデレーターに、IoT分野で研究開発に取り組む企業さまと、AI・製造業の見える化に精通した学識経験者の方をお招きし、パネルディスカッションを行います。



2021年11月に行ったパネルディスカッションの様子

リアル・ライブ配信 10/19

基調講演

カーボンニュートラルな液体合成燃料の製造方法と研究開発動向

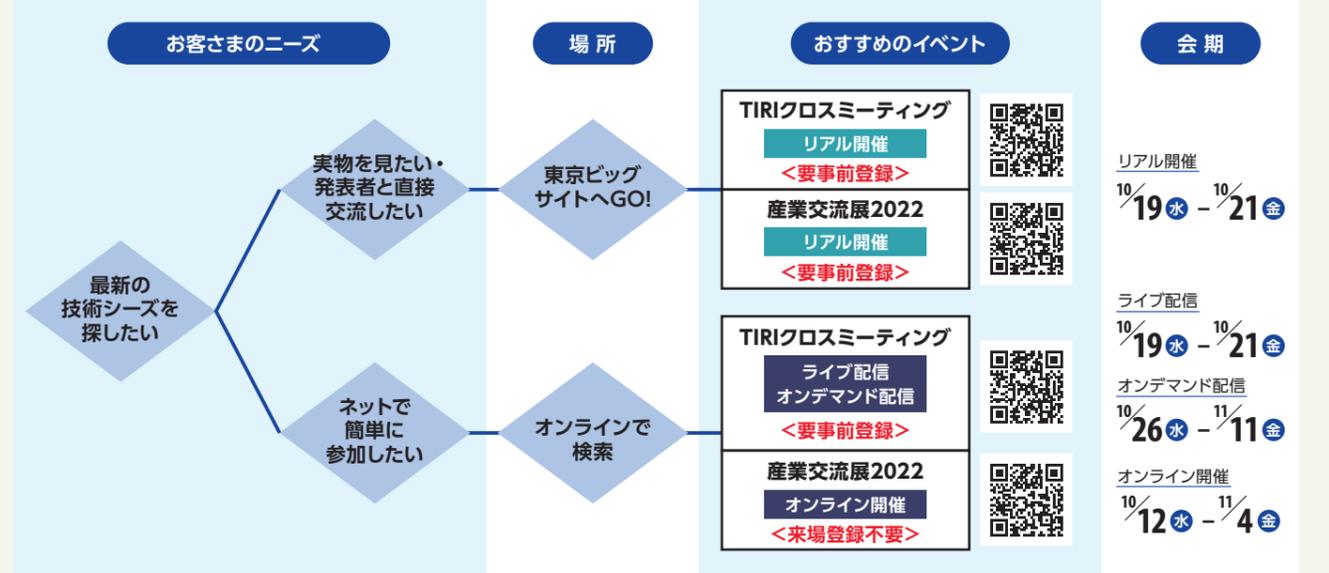
講師：成蹊大学理工学部 里川重夫教授  
1963年生まれ。1988年早稲田大学大学院理工学研究科応用化学専攻修士課程修了、1999年早稲田大学大学院博士(工学)学位取得(課程外)。東ソー株式会社や東京ガス株式会社を経て、2007年から現職。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国や企業ではさまざまな取り組みが実施されています。研究開発の最新動向に焦点を当て、二酸化炭素と水素から人工的に作られる合成燃料の開発や動向についてお話いただきます。

オンデマンド配信 10/26-11/11

参加方法

リアルでもオンラインでもお客さまのご都合に合わせてご参加いただけます。「TIRIクロスミーティング2022」にリアルで参加する場合、「産業交流展2022」の来場者登録も合わせてお願いいたします。



理事長メッセージ | 「TIRIクロスミーティング2022」へようこそ!

TIRIクロスミーティングは、中小企業の皆さまが都産技術の最新技術シーズを「知り」、都産技研の技術と「つながる」ためのマッチングイベントです。今年は、リアルとオンラインのハイブリッド開催です。リアル開催にご参加いただける方は、産業交流展の都産技研ブースにお越しください。

都産技研のミッションは、中小企業の皆さまの技術的な課題解決を強力に支援することです。そのため、技術相談や試験の依頼受けなどを行うとともに、新たな技術シーズを研究開発し発信しています。今回のクロスミーティングは、60の技術シーズをご紹介します。

これらの技術シーズを花開かせるためには、一緒に育てていただける中小企業の方々との出会いが欠かせません。ぜひ、気軽にご参加ください。

ご紹介する技術シーズが、皆さまの課題のど真ん中ではないケースも多いと思いますが、気になるキーワードがありましたら、ぜひ担当までお声がけ下さい。すでに手持ちのシーズをご紹介できる可能性もありますし、更なる研究の端緒になるかもしれません。皆さまにとって、TIRIクロスミーティングがより良い製品・サービスにつながる機会になることを、職員一同心から願っております。

Japan Robot Week 2022のご案内

- ◇ 会 期 2022年10月19日(水)～21日(金) 10:00～17:00
- ◇ 会 場 東京ビッグサイト 西ホール
- ◇ 入場料 1,000円(入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料)

都産技研が中小企業と共同で開発した「人と共存するサービスロボット」を展示します。介護現場や教育現場、点検作業などに利用されるサービスロボットをデモや動画を交えながら直接ご覧いただくことができます。また、ブース内のステージでは、開発企業にロボット開発秘話などをプレゼンテーションしていただきます。

皆さまのご来場をお待ちしております。

産業交流展2022 と相互入場



過去に出展したJapan Robot Weekの様子